

社会変革推進財団、休眠預金活用事業における事後評価をまとめた
「社会的インパクト評価レポート」発行

一般財団法人社会変革推進財団（理事長：大野修一、以下、SIIF）は、2023年3月22日、休眠預金活用事業における2019年度案件「地域活性化ソーシャルビジネス成長支援事業」の事後評価をまとめた社会的インパクト評価レポート（以下、本インパクトレポート）を発行いたします。

本インパクトレポートは、2019年度に採択した6つの支援先団体（以下、実行団体）の「地域活性化ソーシャルビジネス成長支援事業～インパクトが持続的に創出されるエコシステム形成」に関する3年間の成果をまとめたものです。

各実行団体が取り組む社会課題や社会的背景を明示し、ロジックモデルを活用して、環境・社会を含む事業の提供価値を整理・分析するとともに、本事業を通じた社会課題解決の戦略における初期的な成果(アウトカム)を最終評価として掲載しています。加えて、SIIFと各実行団体の3年間の協働のプロセスを振り返り、数字で見える変化や成果に関する総括を行いました。事後評価報告書としての位置付けにとどまらず、ソーシャルビジネスの実践者やインパクト評価に携わるさまざまなステークホルダーの皆さまのお役に立てるよう、成果だけではなく、さまざまな教訓や学びの可視化を試みています。

SIIFの休眠預金事業が一貫して持つテーマは「地域の活性化」です。休眠預金等活用法に基づき、10年以上取引のない預金等（休眠預金等）を、社会課題の解決や民間公益活動の促進のために活用する制度（以下、休眠預金制度）において、SIIFは、2019年度、2020年度、2021年度と3年連続して「資金分配団体」に採択されています。人口減少や少子高齢化の進展による地域社会の活力低下を解決するために、地域で活用されていないさまざまな資源を再活性化させる地域社会の核となるソーシャルビジネスを支援しています。

本インパクトレポート発行により、より多くの皆さまがソーシャルビジネスに関心を持っていただくきっかけとなり、地域課題解決のための共鳴の輪が広がる一助となれば幸いです。

SIIF

Social Innovation
and Investment Foundation
社会変革推進財団

PRESS RELEASE

【ソーシャルビジネス成長支援事業の詳細】

- ・助成事業期間：2020年11月～2023年3月
- ・助成総額：2億779万円
- ・採択された実行団体：6団体



【SIIF 休眠預金事業 インパクトレポート 2022】

- 休眠預金事業とは
- 2019年度「ソーシャルビジネス成長支援事業」概要と最終評価
 - 2019年度 SIIF 休眠預金事業の概要
 - 3年間の振り返り
 - SIIF の伴走支援と協働の成果
- 2019年度実行団体の事業概要と最終評価
 - シェアビレッジ(株)
 - (株)sonraku
 - (株)雨風太陽
 - (株)御祓川
 - (株)Ridilover
 - Renovater(株)
- 休眠預金事業支援先合同セッションの報告
- SIIFについて / 編集後記

【社会変革推進財団（SIIF）について】

日本におけるインパクト投資のエコシステムを共に育て、社会課題を解決していくというミッションのもと設立されました。ソーシャル・インパクト・ボンドを含む社会的インパクト投資のモデル開発や、普及のための環境整備、調査研究・政策提言に取り組んでいます。世界に先駆けて成熟社会に突入する日本を起点として持続可能な社会を支える資金の流れを多様なパートナーと共に作り出すことを目指します。

◎本件に関するお問い合わせ

一般財団法人社会変革推進財団 朽木 :050-5604-0313/ E-mail: media@siif.or.jp